

教材活用シリーズ 第 192 回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果を得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

話し合いが変わる！ 授業が変わる！
一人ひとりの考えをもっと見える形に

(株)正進社
『話し合いアシスト』



(株)正進社 小学編集部

1. はじめに

小学校の授業では、自分の考えを伝えたり、クラスメイトの意見を聞いたりする「話し合い」の場面が多くあります。そうした話し合いのなかで、子どもたちは自分とは異なる見方や捉え方に気づき、考えを広げたり深めたりしていきます。そのためには、一人ひとりが自分なりに表現し、それをクラス全体で共有できる環境をつくることが重要です。

一方で、限られた授業時間のなかで、すべての子どもの考えを把握することは簡単ではありません。挙手や発言だけでは、なかなか自分から発言できない子どもの考えが見えにくいこともあります。

そこで当社では、子どもたちの考えを手軽に集め、共有し、話し合い活動に生かすことができる意見共有ツール『話し合いアシスト』を開発しました。

2. 『話し合いアシスト』とは？

『話し合いアシスト』は、子どもたち一人ひとりの考えを可視化・共有し、クラスでの話し合い活動をサポートするツールです。

もともとは、中学校向け道徳教材『キラリ☆ノート』のデジタル付録として提供していたツールをもとに、小学校のさまざまな授業でより手軽に活用できるよう、デザインや機能、操作性を見直し、小学校版として新たに開発しました。

子どもたちが端末から自分の考えを送信すると、それぞれの意見が画面上に表示されます。挙手や発言だけでは把握しにくかった意見も含め、クラス全体の考えを一覧で確認することができま。

3. 目的に合わせて使える3種類のカード

『話し合いアシスト』には、授業の目的や場面に応じて使い分けができる「アンケート」「リアクション」「テキスト」の3種類のカードがあります。

◇アンケートカード

「アンケートカード」では、選択肢（2～5択）やメーター（0～100の数値）、短いテキスト（20文字まで）などを使って、子どもたちの考えを簡単に集めることができます。回答の集計はグラフでも表示できるため、クラス全体にどのような考えが多いのかをひと目で確



▲アンケートカード

話し、そこから話し合いにつなげることが出来ます。

◇リアクションカード

「リアクションカード」では、クラスメイトの意見や発表に対して「同意」「質問」「意見」などのリアクションを送ることが出来ます。クラスメイトの考えをただ聞くだけでなく、「自分はどう思うのか」をリアクションで表すことで、意見と意見をつなぎ、子ども同士の交流を促します。

◇テキストカード

「テキストカード」では、字数制限のない文章で自分の考えを自由に表現できます。画像を貼り付けることもできるため、さまざまな学習活動に合わせて活用できます。回答時にはカードの色を選ぶことができ、「植物について書く人は緑、動物について書く人は赤」のように、回答内容に応じて色分けすることも出来ます。

4. 「リアルタイムな共有」で生まれる、考えの変化

『話し合いアシスト』の大きな特長のひとつが、授業中の子どもたちの考えをリアルタイムに共有できることです。

子どもたちは、自分の考えを送信するだけでなく、その場でクラスメイトの考えを見ることが出来ます。「自分と同じ考えだ」「そんな見方もあるのか」とさまざまな意見に触れることで、自分の考えを広げたり、見直したりするきっかけが生まれます。

また、一度意見を出して終わりではなく、クラスメイトの意見やクラスでの話し合いを受けて、改めて自分の考えを編集し、表現することも出来ます。「最初はこう考えていたけれど、クラスメイトの意見を聞いて考えが変わった」といった、話し合いのなかで生まれる考えの変化も共有することが出来ます。

教師にとっても、一人ひとりの考えやその変化が見えることで、どの意見を取り上げるか、次にどのような問いを投げかけるかなど、話し合いを展開するための手がかりになります。

5. 授業ですぐに使える、シンプルな仕組み

授業で日常的に活用するためには、機能だけでなく、準備や操作が簡単であることも重要です。『話し合いアシスト』は、子

ども一人ひとりのIDやメールアドレスを登録する必要があります。教師が学年・組・人数などを設定すると参加用のコードが発行され、子どもたちはそのコードを使って参加できます。

複雑な設定や操作をできるだけ減らしているため、「少し意見を聞いてみたい」「ここで全員の考えを共有したい」と思ったときにも、授業の流れを大きく止めることなく活用できます。授業の導入から展開、まとめまで、必要な場面に合わせて手軽に取り入れることが出来ます。

6. おわりに

『話し合いアシスト』は、ICTによって話し合いそのものを置き換えるためのツールではありません。これまで見えにくかった一人ひとりの考えを見えるようにし、それをクラス全体で共有することで、子ども同士の対話をより豊かにしていくためのツールです。

自分の考えを表現する。クラスメイトの考えを知る。それぞれの考えを比べる。そして、もう一度自分の考えを見つめ直す。こうした学習の過程を、より多くの子どもたちが経験できるようにすることが、『話し合いアシスト』の目指すところです。

『話し合いアシスト』を通して、より多くの子どもたちが話し合いに参加し、互いの考えを生かしながら学びを深めていくことを願っています。



話し合いアシスト
紹介 Web ページ